

まずは創業131周年（1893年創業）を迎えた「ウェレンドルフ」に感謝と敬意を表します。また、日本上陸50周年を心よりお祝い申し上げます。

我々「ヨシダ」も今年で創業104年を迎え、この長きファミリービジネスを継続させる難しさもよく理解しているつもりです。それは経営理念や使命といった企業の伝統を大切にしながらお客様に寄り添えるよう、常に新しい挑戦を続けているということです。

知人の紹介より現CEO「クリストフ・ウェレンドルフさん」と出会いました。今でも日本に来日する機会があると必ず一緒に食事をとります。いつも彼はノートとペンをテーブルに置き私に沢山の質問をしてくれます。それは「商品」だけでなく「企業としてのあり方」や「家族」など多岐にわたるものです。それらの質問に対して私は時には時間をかけてゆっくりと答えることもあります。彼は私の目をじっと見てその言葉の1つ1つを真剣に受け止めてくれます。これこそが使命感をもちながら挑戦し続けるリーダーの良き見本であると思います。そして、彼の「真面目さ」や「食欲さ」は私にとっても大事にしているものでいつも刺激をもらっています。

話は変わりますが、わたしは彼の妻である「イリスさん」の為につくったとクリストフさんがソリテールリングを見せてくれた時のことをよく覚えています。このリングの説明を聞いた時、彼の妻への深い愛を知ることができました。もちろんドイツに行った際には「イリスさん」、弟の「ゲオルグさん」妻の「クラウディアさん」そして彼の両親である「ハンスペーターさん」「エヴァさん」とも食事を一緒にさせていただきましたので家族の仲の良さは良く知っていました。彼らウェレンドルフファミリーが作り出す商品はいつもまずは家族に宛てたものあり、その愛情の形となった商品だからこそ人は魅了されていくのだと私は確信しています。

ウェレンドルフの箱に描かれた「愛を込めて、最高のジュエリーを」はクリストフさんが考える愛情をゲオルグさんが作品として作り出すという他ブランドにはない彼らの調和が生み出す家族愛です。彼らは家族への愛を商品という形で世に生み出し成功し続けていますが、私も同じくファミリービジネスを行っている立場として家族や社員に対しての愛をお客様へのサービスという形に変えて現在も挑戦し続けています。

最後になりますが、我々「ヨシダ」は今後も「ウェレンドルフ」と共に成長し続け、発展していきます。日頃の感謝を込めて私のメッセージとさせていただきます。

株式会社ヨシダ
代表取締役 吉田 勉

Photography: xxxx